

日本大学歯学部

大学院歯学研究科 DENTISTRY 2027

NIHON UNIVERSITY SCHOOL OF DENTISTRY

【 医学的歯学の伝統から、
INHERITANCE × INNOVATION
次代の医療へ 】




医学的歯学の伝統から、 INHERITANCE × INNOVATION 次代の医療へ

日本大学歯学部では、歯学を単に口腔や歯だけにとどめず、全身との関連において学ぶ「医学的歯学」を教育理念として、未来の医療人を育成しています。口腔の健康が誤嚥性肺炎や糖尿病などの全身疾患と関連することが、さまざまな視点から明らかにされています。むし歯や歯周病などがない健康な口腔を保つことは、いつまでもおいしく食べることや話すことにつながるだけでなく、要介護の原因となる病気を予防し、健康寿命を延ばす鍵となります。

また、我が国をはじめ高齢化が進む多くの国・地域では、病気やその後遺症を抱えた患者に対する歯科診療のニーズも高まっています。

つまり、「医学的歯学」の考えを深く持つ歯科医師が、今、一人でも多く求められているのです。

日本大学歯学部は、これからの社会を支える医療人を目指し、その一歩を踏み出すみなさんと真摯に向き合い、共に歩みます。




虫歯

虫歯は食生活や口腔衛生の乱れのサイン。放置すると咀嚼機能が低下し、栄養バランスが崩れ、全身疾患のリスクが高まる。歯科医師は生活習慣の改善指導も担う。




歯周病

慢性炎症が全身に影響。歯周病菌が血流に乗って動脈硬化・心臓病・糖尿病の悪化を招く。歯科治療は炎症のコントロールと全身疾患の予防に直結。




肥満

咀嚼力の低下や口腔機能障害が早食いや過食を招き、肥満につながる。歯科医師は咀嚼指導や口腔機能の改善を通じて肥満予防に貢献。




食後高血糖

歯周病がインスリン抵抗性を高め、血糖値のコントロールを難しくする。歯科治療により炎症を抑えることで、糖尿病の管理がしやすくなる。



高血圧

歯周病による慢性炎症が血管に負担をかけ、血圧上昇の一因となる。歯科医師は口腔内の炎症を抑えることで、高血圧のリスク低減に寄与。




脂肪肝

肥満や糖尿病と関連が深く、歯周病の炎症が肝機能にも悪影響を及ぼす可能性がある。歯科治療は肝疾患の予防的アプローチにもなる。




心臓病

歯周病菌が心臓弁膜症や心筋炎の原因になることも。歯科治療は心疾患のリスク管理に不可欠。




認知症

噛む力の低下が脳の刺激を減らし、認知機能に影響。歯科医師は咀嚼機能の維持を通じて認知症予防に貢献。




脳卒中

歯周病による炎症が脳血管に影響を与える可能性あり。また、脳卒中後の嚥下障害に対して歯科医師がリハビリ支援を行う。



腎不全

糖尿病や高血圧が原因となる腎不全は、口腔内の感染症リスクも高い。歯科医師は腎疾患患者の口腔管理を通じて合併症予防に貢献。



動脈硬化

歯周病菌が血管内に入り、動脈硬化を促進。歯科医師は血管疾患のリスク管理者としての役割も担う。

CONTENTS

日大歯学部6つの強み	03	6年間のステップ	11	学費・奨学金	23
学部長メッセージ	04	キャンパスライフ	17	学生寮	24
施設紹介	05	大学院歯学研究科	19	教育方針	25
多彩な進路	07	総合歯学研究科	20	日本大学歯学部の歴史	26
カリキュラム	09	総合歯学研究所	20	入学者選抜情報	21



POINT 01

付属病院との連携による 実践的な臨床実習と研修制度

歯科医師になるためには、国家試験合格後1年間の臨床研修を受ける必要があります。本大学付属歯科病院は、総合診療科という研修歯科医受け入れ専門の科を設けており、カリキュラム・研修要項の整備・施設の充実を図っています。

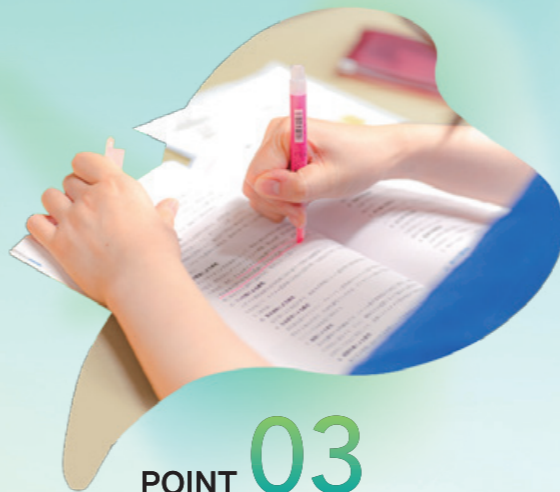
P.05

POINT 02

共用試験の公的化・国家試験に 対応した新カリキュラム

歯科医師国家試験や共用試験では、歯科医師として必要な基本的知識だけでなく、その知識を活かした応用力が求められます。そこで、基本的な知識と柔軟な問題解決能力を修得できるよう、科目間のつながり(関連性や順次性)を意識した新しいカリキュラムが、令和5年度からスタートしました。

P.09



POINT 03

人間性豊かな 歯科医育成・幅広い進路選択

卒業生は歯科医師のみならず、歯学を介して様々な進路へ羽ばたいています。本学部を卒業後、歯科医師として診療に従事する者、研究機関等の研究・教育者の道へ進む者や大学病院などで専門性の高い歯科医師となる者、地域で開業医として働く者がいます。

P.07

私たちの目標、 それはお口の働きから国民を健康に導く 歯科医師を育てることです

日本大学歯学部長
飯沼 利光 教授(歯科補綴学)



日本大学歯学部は大正5年に創設され、日本でも有数の伝統を誇ります。その特色は、基礎医学の知識に乏しく、技術偏重であった当時の日本の歯科医学会において、極めて先駆的な「医学的歯学」の教育理念、すなわち、歯学を単に口腔や歯だけにとどめず、全身との関連において組織的に学ぶことの重要性を強調した教育をこれまで一貫して行ってきたことにあります。そしてこの理念は、現在、日本はもとより世界で歯科教育の基本となっています。

一方、日本大学は創設130周年を迎えた日本最大の総合大学です。その教育の柱は、日本大学教育憲章にもあるように「日本大学マインド」として「日本の特質を理解し伝える力」、「多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力」、「社会に貢献する姿勢」の3つを掲げ、そのマインドを備えていくために「自ら学ぶ」、「自ら考える」、「自ら道をひらく」という「自主創造」の3要素を身につけた学生を育成することです。

今まさに、社会の価値観が複雑かつ多様化する状況の中で、歯科医師に求められる活躍の場はこれまで想像されていなかったさまざまな領域まで拡大しており、そのような場で活躍するには、どのような苦境の中でも決して志を失うことなく、難問解決のための様々なアイデアや技術を発案、提供し、その活用方法を社会に向け広く発信する能力が求められており、まさに「自主創造」を身につけた歯科医師の育成こそが日本大学歯学部の大きな使命であると確信しています。

この使命感を共有し、本学部で歯科医学を学び、国民の皆さんの健康長寿に貢献したいという強い意思のある学生の皆さんの入学を心から歓迎いたします。そして、私たち教職員は皆さんのその目標達成のために全力で応援いたします。

日本大学教育憲章

日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。

日本大学マインド

日本の特質を理解し伝える力 日本文化に基づく日本人の気質、感性及び価値観を身につけ、その特質を自ら発信することができる。	多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力 異文化及び異分野の多様な価値を受容し、地域社会、日本及び世界の中での自己の立ち位置や役割を認識し、説明することができる。	社会に貢献する姿勢 社会に貢献する姿勢を持ち続けることができる。
--	---	--

「自主創造」の3つの構成要素及びその能力

自ら学ぶ 豊かな知識・教養に基づく高い倫理観、世界の現状を理解し、説明する力	豊かな知識・教養を基に倫理観を高めることができる。世界情勢を理解し、国際社会が直面している問題を説明することができる。
自ら考える 論理的・批判的思考力、問題発見・解決力	得られる情報を基に論理的な思考、批判的な思考をすることができる。事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。
自ら道をひらく 挑戦力、コミュニケーション力、リーダーシップ・協働力、省察力	あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦することができる。他者の意見を聴いて理解し、自分の考えを伝えることができる。集団のなかで連携しながら、協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて自己を高めることができる。

STRONG POINT

日大歯学部6つの強み

POINT 04

恵まれた立地の 都市型キャンパスと リニューアルされた新校舎

創設百周年事業の一環として令和3年に完成しました。先端的歯科医療の現場である付属歯科病院と実習室が一つの校舎にあり、学生は生の現場を身近に感じることができます。また、式典やプレゼンなどで使用する創設百周年記念講堂などがあります。

P.05



POINT 05

文武両道を実現する 社会で役立つ充実した学生生活

8割の学生がクラブ活動に参加しています。全国トップクラスの実績を誇る部もあり、部活動がとて盛んです。各クラブには、教職員が顧問及び監督として配置されています。文化祭(桜歯祭)では、いちにち歯医者さん、歯に関する展示、各文化部の展示・発表、芸能ライブ、フリーマーケット、模擬店などを企画し賑わいを見せています。

P.18



POINT 06

医学的歯学を軸とした 百年の伝統校

日本大学歯学部は、1916年(大正5年)、佐藤運雄先生によって東洋歯科医学校として設立されたことに始まり、2016年(平成28年)に創設百周年を迎えた伝統ある学部です。その建学の趣旨は、医学的基礎に立脚した歯科技術の向上と人格の教化であるとされています。

P.26



主体的に学ぶ



図書館閲覧室



ラーニングcommons

本館の1階と地下1階の2フロアにある図書館には、歯科学を中心とした最新の生命科学系図書・雑誌を配備しており、電子ブック・電子論文も多数取り揃えています。また、学生による選書図書(学生選書)により、生命科学系以外の分野の図書、ベストセラーや小説なども提供しています。館内には、可動式のホワイトボードや机を備えたラーニングcommonsを設置し、明るく開放的な空間で学生の主体的な学びをサポートする環境を整えています。



共に学ぶ



グループスタディールーム

図書館には、学生の学修支援に向けた新たなスペースとして閲覧室兼自習室エリアがあります。静粛な環境のもと集中して学修できるスペースを提供しています。同じフロアにはグループスタディールームも計7ブース(定員3～8人)設置。壁全面がホワイトボードになっており、グループ学習や少人数のミーティングなどで利用されます。

校舎と病院が一体となり教育・研究・臨床すべての機能が集約

本館は、「教育・研究・臨床の融合」を図る新校舎・新歯科病院を建設するというコンセプトの下で竣工しました。地上7階地下2階のうち、2階と3階に1年次から6年次学生のための講義室が配置されています。地下1階と4階には、実習室が配置され、5階から7階までは、基礎系の研究室と材料・組織系・培養系・動物系の実験を行う共用ラボです。1階と地下1階には、グループスタディールームやラーニングcommons型の図書館が、また、地下1階には憩いの場として、ラウンジが配置されています。

FACILITY INTRODUCTION

施設紹介

最新の設備で学ぶ



実習室(スキルスラボ)

4階には、臨床手技のシミュレーション教育を行うスキルスラボを配置しています。最新鋭の診療用ユニットを用いて、診療室と同じ環境で実際の診療をイメージしたトレーニングを行い、臨床手技のスキルアップを図ります。



実習室

主に1～3年次が基礎科学・基礎歯科医学を学ぶための実習室があり、移動可能な大型モニターやICT機器を用いた実習が可能な設備となっています。



先端的歯科医療の現場で学ぶ



5年次の診療参加型臨床実習

日本大学歯学部付属歯科病院は、アクセスの良い都心に位置する大学病院として、むし歯、歯周病や顎顔面等における疾患を持つ患者さんを広く受け入れています。歯科用ユニット144台、24床の入院設備に加えて、感染症患者さんのための治療設備や身体の不自由な患者さんのための治療設備も備えています。5年次からの診療参加型臨床実習では、年間約18万人の来院患者数を誇る付属歯科病院で、多様な症例に触れながら、歯科医師としてのプロフェッショナリズムや知識・態度・技能を学びます。



歯科病院診療室



手術室



Others



3号館

教務課、学生課などの事務室や、保健室、学生支援室があります。地下には各クラブの部室やウェイトルーム、シャワー室を備えています。また、歯科技工専門学校の講義を行っています。



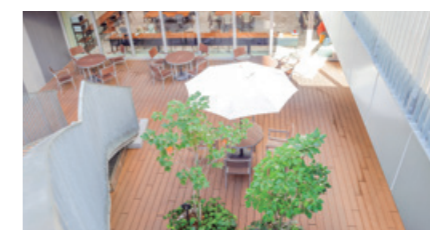
4号館

歯学部創設80周年記念事業として平成18年に竣工した建物です。講義室や会議室があります。また、歯科衛生専門学校の講義を行っています。

憩う



本館ラウンジ



テラス



3号館ラウンジ

VOICE 01 開業医

先輩・後輩・同級生の絆に支えられ、 歯科矯正医として地域に貢献

中高時代から、ついつい友人の歯を観察してしまうタイプだった私。科学的な事や手先を使う事も好きでしたので、歯科医師は適職ではないか?と考えるようになりました。本学部は医学的歯学という理念の元に、伝統ある歯学教育を行っており、科学的に視野の広い歯科医師を育成されている点に惹かれ、進学いたしました。両親は歯科医師ではなく、歯科業界について知らない事ばかりだったのですが、本学の強い絆に支えられ、充実した学生生活を送る事ができました。

卒後は13年間本学部にて臨床・研究・教育に従事しましたが、歯科矯正科医として地域に貢献して行きたいと思い、開業する道を選びました。自身も子育てをしながら、治療を通じて地域の子供達の成長も見守る日々です。当院は歯科矯正専門医院ですが、先輩・後輩・同級生と連携を取り合って、総合的な歯科治療に取り組む事ができており、日本大学歯学部同窓の絆には大変感謝しております。

一番町矯正歯科DENTAL CLINIC 副院長
鈴木 里奈さん 2005年卒業



主な就職先

日本大学歯学部を卒業後、地域で開業医として診療に従事する者、研究・教育者の道へ進む者や、大学病院などで専門性を磨く者がいます。行政に従事する歯科医師もおり、卒業後の道は広く開かれています。

VOICE 03 勤務医

「面白そう」がスタート地点 やりたいことをやってみる

歯科と無縁な家庭に育った私は、人と関わることが好きという理由で、歯学の道を目指しました。学生時代は新幹線で通学し、個性豊かで人情味溢れる同級生に支えられ、毎日勉強や部活をしていました。臨床実習の時、口腔外科が面白いと刺激を受け、卒業後、浜松医科大学医学部附属病院歯科口腔外科で研修し、近畿大学奈良病院歯科口腔外科で学び、今の職場で働いています。当科は歯科医師、歯科衛生士すべて女性です。仕事と家庭を両立しながら働いています。今後も歯科領域を超えた知識を深めたいと思います。一生勉強は続きます。

学生時代、先生方には大変お世話になり大学で学んだ知識は卒業しても色褪せることはありません。皆さんには時にさまざまな壁にぶつかり簡単に解決できないこともあるでしょう。まずは「面白そう」から行動を起こし、性別で仕事の選択肢を狭めず、常に挑戦する気持ちを忘れず頑張ってください。

聖隷沼津病院 歯科口腔外科医長
田中 里枝さん 2012年卒業



FUTURE COURSE 多彩な進路

多くのことを学んだ学生生活から 医療人としての心構えを身につける

開業医として歯科のみならず、広く地域貢献をしていた父の背中を見て、歯科医師を目指しました。父の母校である日本大学歯学部に進学し、卒業後本校の臨床系の大学院へと進学、現在医院を継承しております。学生生活において特に記憶に残っていることは、実習と部活動です。とにかく実習が多く大変でしたが、得られるものは多かったですし、医療従事者としての心構えを身につけることができましたと確信しています。病院実習では実際の臨床を目の当たりにし、一口腔一単位という意味を深く理解できたと思います。

また、日本大学歯学部は部活動にも力を入れており、その流れもありサッカー部に所属しました。部活動では生涯にわたる仲間や恩師との出会いがあり、非常に濃い時間を過ごすことができました。皆さんも濃く実りの多い大学生活を謳歌して、生涯の仲間を見つけてください。

ダイヤビル歯科 院長
内藤 浩司さん 2006年卒業



VOICE 02 開業医

日本大学歯学部で学んだことを糧に 世界最先端の医学研究に挑戦する

親が歯科医師だという理由で歯学部に進学する人は多いのですが、私もそんな安易な理由で歯学部を選びました。国家試験の勉強をしているときに出会った、たった1問の試験問題から、免疫学って面白いかも!と思い、大学院は慶應義塾大学の医学系研究科に進学しました。基礎系大学院への進学は、人生で初めてやりたいことを自分で決めた瞬間だったと思います。大学院の時に発見したリンパ球の研究をするために、現在は大阪大学医学系研究科と理化学研究所でアレルギー、肺線維症、潰瘍性大腸炎、子宮内膜症などさまざまな病気の研究を行っています。歯科という特殊な分野で学んだからこそ、人とは異なる目線で研究にアプローチできることもあります。日本大学歯学部が誇るコミュニケーション力も国内外の研究者との交流にとても活かされています。歯学部を卒業したら必ず歯科医師にならなくてはいけないわけではないので、研究に興味がある方にもおすすめの進路です。

大阪大学医学系研究科感染症・免疫学講座 教授
理化学研究所生命医学研究所 チームリーダー
茂呂 和世さん 2003年卒業

VOICE 04 研究者



CURRICULUM

カリキュラム

知識の定着を確実にし、総合的に歯科医学を学ぶ

歯科医師国家試験や共用試験では、歯科医師として必要な基本的知識だけでなく、その知識を活かした応用力が求められます。そこで、基本的な知識と柔軟な問題解決能力を修得できるよう、科目間のつながり(関連性や順次性)を意識した新しいカリキュラムが、令和5年度からスタートしました。このカリキュラムでは、10のコースが学年横断的に設置されています。それぞれのコースに含まれる科目群を系統的に学修することで、コース名が示す能力を修得します。

フェーズ1

歯科医学を学ぶための基盤を形成する

教養科目及び基礎歯学の科目が配置されています。第1学年前期では、歯学部での学修に必要な基礎知識を講義と実習により確認します。また、問題基盤型学修(Problem-Based Learning: PBL)で理論的な思考能力及び問題解決能力を育成します[※]。第1学年後期からは、基礎歯学の科目を中心とした講義と実習が始まり、臨床歯学を学ぶための基盤を形成します。

[※]歯科医療の現場では、知識量が豊富なだけでなく、複数の専門分野の知識を統合して使う力(考える力)が要求されます。PBLでは、課題(症例)から学生自身が問題を発見し、その問題を解決する過程の中で、自ら学ぶ姿勢と考える力を養います。PBLを通じて、高等学校までの「覚える学修」から歯科医師になるための「考える学修」への転換を図ります。

1年

前期 後期

② 歯科医学を学ぶための基礎

教養科目が配置されており、主体的に学修する習慣を身につけながら、歯科医学に必要な幅広い知識に触れます。歯科医学の理解につながるコースです。

物理学1	物理学2
化学	データサイエンス・データサイエンスの世界
生物学	
医療統計学	

④ 全身管理

さまざまな疾患をもつ患者さんが安全に歯科治療を受けられるよう、全身管理に必要な幅広い知識を修得するコースです。

生理学1	生理学2	薬理学1
生化学1	生化学2	生化学3

⑤ 口腔と顎顔面疾患の治療

口腔だけでなく顎・顔面領域の疾患の診断・治療を行うために必要な知識や技能を網羅的に学修するコースです。

解剖学(骨)	解剖学(筋、内臓、神経、脈管・感覚器)	人体解剖学実習
組織・発生学	口腔組織学	病理学1
歯の解剖学		

6年間のカリキュラムを通して修得できる能力

歯科医療は日々進歩しており、歯科医師に求められる医学的知識は増え続けています。また、実際の臨床で遭遇するさまざまな状況に対応するためには、知識を応用する力や実際の行動に移すための決断力も求められます。当然、患者さんのために働くといった高い倫理観と使命感や、獲得した知識を積極的に更新するための生涯学習の姿勢も求められます。そこで、本学部では、歯科医師が身につけるべき能力をコンピテンス・コンピテンシーとして示しています。詳細は25・26ページを参照してください。

これらの歯科医師に必要な能力は、講義中心の受動的な学修だけで身につくものではなく、学生の皆さんが「目指す歯科医師像」をイメージし、それぞれの科目でどの能力が身につくかを意識しながら主体的に学ぶことが重要となります。

① 歯科医師として求められる基本的な資質

医療人としての成熟に必要な科目や問題基盤型学修科目が配置されており、プロフェッショナリズムや問題解決能力の基礎を育みます。また、働き方の多様化が進む中での歯科医師としてのキャリアパス形成を考えるコースです。

歯科医学入門1	歯科臨床早期見学実習	プロフェッショナリズムと行動科学	医療コミュニケーション学	研究の実践(選択)	歯科臨床見学実習	歯科医学入門2	歯科臨床体験実習
英語1	英語2	英語3					
スポーツ健康科学1	スポーツ健康科学2						
自主創造の基礎	日本を考える(選択)						

フェーズ2

問題解決能力を身に付け、臨床の知識・技能を体系的に修得する

主に臨床歯学の科目が配置されており、講義と臨床基礎実習を行うことで基礎歯学を含めた知識と技能を統合させます。さらに、専門性を高めた形でPBLやシミュレーション実習を実施することにより、臨床における問題解決能力の基礎を育成します。

2年

前期 後期

⑧ 社会と歯学

保健・医療・福祉・介護の場で、地域社会に貢献するための基礎を学ぶコースです。

衛生学1	衛生学2	社会歯科学1	社会歯科学2	法医学
------	------	--------	--------	-----

⑦ 診察の基本

画像診断や診察・検査などについて理解し、健康でない状態の原因を分析、判断する力を身につけるためのコースです。

歯科放射線学1	口腔内科学1	口腔内科学2	診査診断学
	歯科放射線学2		

③ 歯と歯周組織の治療

齲蝕や歯周病など、臨床で高頻度に遭遇する疾患とその対応を、基礎系科目の最新の知見も踏まえて幅広く学修するコースです。

保存修復学1	保存修復学2
歯内療法学1	歯内療法学2
歯周病学1	歯周病学2

⑥ 歯質と歯の欠損治療

歯を失うことによって低下した口腔機能を回復するために必要な知識や技能を、材料学も含めて系統立てて学修するコースです。

冠橋義歯補綴学1	冠橋義歯補綴学2	口腔インプラント学
全部床義歯補綴学1	部分床義歯補綴学1	部分床義歯補綴学2
全部床義歯補綴学2		

⑨ 小児歯科・矯正歯科治療

歯の発育過程でのトラブルや不正咬合への対応など、一般歯科治療とは異なる視点で学ぶコースです。

小児歯科学1	小児歯科学2
歯科矯正学	歯科矯正学実習

⑩ スペシャルニーズデンティストリー

歯科治療にあたり特別な配慮が必要な患者さんについて理解し、個々の患者さんに適した対応を学ぶためのコースです。

高齢者歯科学	有病者歯科学	摂食機能療法学
--------	--------	---------

新カリキュラムのポイント

- 知識の定着
さまざまな学年で繰り返し学修することで確実な知識の定着
- 科目間の縦の連携・知識の応用
同一の学修内容を学生の理解度にあわせて学習レベルを上げながら、さまざまな学年で繰り返し学修
- 科目間の横の連携
同一の学修内容をさまざまな科目と方略で学修

科目間の縦と横の連携

例えば、むし歯や歯周病の治療の学びでは…

フェーズ3 (知識・技能・態度)

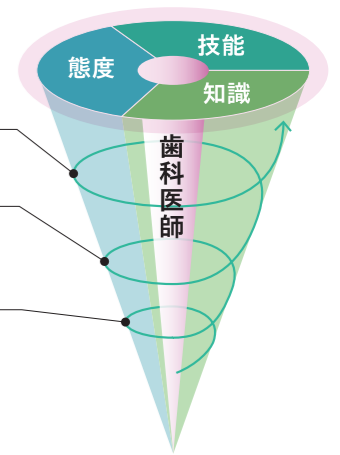
患者さんの治療を担当する(診療参加型臨床実習)

フェーズ2 (知識・技能・態度)

むし歯と歯周病の治療法を学ぶ(保存修復学・歯周病学)
治療に必要な態度を学ぶ(歯科臨床見学実習・歯科臨床体験実習)

フェーズ1 (主に知識・態度)

歯と歯周組織の基本を学ぶ(歯の解剖学・口腔組織学)
むし歯と歯周病の原因を学ぶ(感染症免疫学)
患者さんとのコミュニケーションを学ぶ(医療コミュニケーション学)



フェーズ3

診療参加型臨床実習を通して歯科臨床能力を高め、歯科医師国家試験に挑む

診療参加型臨床実習において、臨床実習生(歯学)として患者に対する診療を担当することにより歯科臨床能力を育成します。また、さまざまな学修分野を集約化した「総括講義2・3」により、学修を深化させるとともに、複数分野を融合することで、歯科医師国家試験に対応できるよう、知識を拡充します。

3年

前後期

診療参加型臨床実習

診療参加型臨床実習において、臨床実習生(歯学)として患者に対する診療を担当することにより歯科臨床能力を育成します。

Post-CC PX
臨床実習後の共用試験

総括講義2

診療参加型臨床実習で得られる知識・思考法・技能と、第4学年までに学んだ知識を整理・統合し、学修を深化させます。

隣接医学1・2・3
歯科治療の多様化

総括講義3

これまでに学んだ歯科医学についての知識を整理・統合し、歯科医師に必要な知識ならびに問題解決の能力を身につけ、歯科医師国家試験に合格できる学力を身につけます。

総括講義1

これまでに学修した臨床科目と、これを支える基礎科目のつながりを再確認しながら知識の定着を図るための第1~4学年の総復習講義で、共用試験等に対応するための学力向上を目指します。

総括講義2

診療参加型臨床実習で得られる知識・思考法・技能と、第4学年までに学んだ知識を整理・統合し、学修を深化させます。

総括講義3

これまでに学んだ歯科医学についての知識を整理・統合し、歯科医師に必要な知識ならびに問題解決の能力を身につけ、歯科医師国家試験に合格できる学力を身につけます。

総括講義1

これまでに学修した臨床科目と、これを支える基礎科目のつながりを再確認しながら知識の定着を図るための第1~4学年の総復習講義で、共用試験等に対応するための学力向上を目指します。

総括講義2

診療参加型臨床実習で得られる知識・思考法・技能と、第4学年までに学んだ知識を整理・統合し、学修を深化させます。

総括講義3

これまでに学んだ歯科医学についての知識を整理・統合し、歯科医師に必要な知識ならびに問題解決の能力を身につけ、歯科医師国家試験に合格できる学力を身につけます。

総括講義1

これまでに学修した臨床科目と、これを支える基礎科目のつながりを再確認しながら知識の定着を図るための第1~4学年の総復習講義で、共用試験等に対応するための学力向上を目指します。

総括講義2

診療参加型臨床実習で得られる知識・思考法・技能と、第4学年までに学んだ知識を整理・統合し、学修を深化させます。

総括講義3

これまでに学んだ歯科医学についての知識を整理・統合し、歯科医師に必要な知識ならびに問題解決の能力を身につけ、歯科医師国家試験に合格できる学力を身につけます。

総括講義1

これまでに学修した臨床科目と、これを支える基礎科目のつながりを再確認しながら知識の定着を図るための第1~4学年の総復習講義で、共用試験等に対応するための学力向上を目指します。

総括講義2

診療参加型臨床実習で得られる知識・思考法・技能と、第4学年までに学んだ知識を整理・統合し、学修を深化させます。

総括講義3

これまでに学んだ歯科医学についての知識を整理・統合し、歯科医師に必要な知識ならびに問題解決の能力を身につけ、歯科医師国家試験に合格できる学力を身につけます。



1 年次 演習や講義を通して 知識を深める

後期 ■ 歯の解剖学

1年次 前期時間割

	月	火	水	木	金	
1	9:00~9:50	グループ学習	②生物学	②医療統計学	②化学	②物理学1
2	10:00~10:50	前週講義試験／Briefing	②生物学	②医療統計学	②化学	②物理学1
3	11:00~11:50	①歯科医学入門1	②生物学		②化学	②物理学1
4	12:00~12:50	①歯科医学入門1				
5	13:00~13:50		②化学	①スポーツ健康科学1	②生物学	①英語1
6	14:00~14:50	①自主創造の基礎	②化学	①スポーツ健康科学1	②生物学	①英語1
7	15:00~15:50	①自主創造の基礎	②化学		②生物学	グループ学習
8	16:00~16:50	グループ学習	グループ学習		グループ学習	Weekly Summary
9	17:00~17:50					

①歯科医師として求められる基本的な資質 ②歯科医学を学ぶための基礎

グループ学習：仲間と協力して予習・復習や課題に取り組む時間です。

前週講義試験：前週に行った学修事項についての試験で、講義内容の復習をルーティン化させ必要な知識の定着を図ります。

知識の定着をはかるカリキュラム。歯科医師としての基礎が着実に養われる。

前週講義試験や小さな試験などで、学びを確認する機会がたびたびあり、知識が確実に身についていると感じています。解剖学の授業で、人体は想像以上に複雑で精密な構造であることを学び、医療系の仕事の責任の重さを実感。日々の積み重ねが不可欠で、より真剣に取り組む姿勢が身につきました。

河村 暖和さん

私立東海大学付属相模高等学校出身(神奈川県)

Pickup 授業



自主創造の基礎

前期

「自主創造の基礎」の中で実施している『日本大学ワールド・カフェ』では、12,000人以上の学生が、文系、理系、医歯薬系の垣根を越え、他学部の学生と交流しながら学修することができます。



組織・発生学

後期

細胞や細胞外マトリックス、組織・器官がミクロのレベルでどのように構成され、ヒトのからだを形成しているのかを視覚的に理解し、さらに、生殖細胞の形成から受精・発生、進化の過程を学び、医療人としての基礎的理解と生命観を養います。



2 年次 歯や口腔の形態・組織、人体構造機能について理解する

後期 ■ 衛生学2

2年次 前期時間割

	月	火	水	木	金	
1	9:00~9:50	グループ学習	③生理学2	⑤解剖学(神経)	⑤解剖学(内臓)	
2	10:00~10:50	前週講義試験／Briefing	③生理学2	⑤解剖学(脈管・感覚器)	⑤解剖学(筋)	⑥歯理工学1
3	11:00~11:50	振り返り講義(1年前後期)	③生理学2	⑤口腔組織学	グループ学習	⑥歯理工学1
4	12:00~12:50	③感染症免疫学1		⑤口腔組織学		
5	13:00~13:50		④生化学2		①プロフェッショナリズムと行動科学	
6	14:00~14:50	③感染症免疫学1	④生化学2	⑤口腔組織学	①プロフェッショナリズムと行動科学	③感染症免疫学2
7	15:00~15:50	③感染症免疫学1	④生化学2	⑤口腔組織学	①英語3	③感染症免疫学2
8	16:00~16:50		④生化学2		①英語3	Weekly Summary
9	17:00~17:50					

①歯科医師として求められる基本的な資質 ③歯と歯周組織の治療 ④全身管理 ⑤口腔と顎顔面疾患の治療 ⑥歯質と歯の欠損治療

BriefingとWeekly Summary：授業や学生生活について教員と話し合う時間です。

振り返り講義：前年次に学修した科目について復習するための講義です。学期末に試験が行われます。



歯理工学2

後期

歯科医療や歯科技工を行うために用いられる材料(高分子材料、セラミックス、金属材料、複合材料)と器械・器具の固有の性質、特性及び用途を理解し、歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法などを学びます。



衛生学2

後期

口腔疾患の発症に影響する宿主・環境要因ならびに、個人と集団を対象とした予防の考えを学びます。また、口腔の健康と機能の維持増進の意義を理解します。

歯科材料や工具の使い方など、歯科医師に求められる知識や技術の基礎を学ぶ。

「歯理工学2」で、歯科治療で使う金属・ワックス・印象材の使用方法や製作方法、機械や工具の使い方など、歯科医に必要な具体的な技術や知識を学びました。将来は歯列矯正や高齢者歯科などを通して患者さんを支えたいと考えており、義歯やインプラント作製時の自信になると思います。

桐戸 駿さん

私立加藤学園暁秀高等学校出身(静岡県)



3年次 医療行為を行う前の基礎知識を養う

後期 ■ 歯周病学2

3年次 前期時間割

	月	火	水	木	金	
1	9:00~9:50	グループ学習	⑥全部床義歯補綴学1	③保存修復学1	⑥冠橋義歯補綴学1	⑦歯科放射線学2
2	10:00~10:50	Briefing / 前週講義試験	⑥全部床義歯補綴学2	③保存修復学1	⑥冠橋義歯補綴学1	⑦歯科放射線学2
3	11:00~11:50	振り返り講義 (2年前期)	⑥全部床義歯補綴学2	③保存修復学1	⑥冠橋義歯補綴学1	④薬理学2
4	12:00~12:50	振り返り講義 (2年前期)	⑥全部床義歯補綴学2		⑥冠橋義歯補綴学1	④薬理学2
5	13:00~13:50			グループ学習		
6	14:00~14:50	⑦口腔内科学1	③歯周病学1	⑤病理学2	⑧社会歯科学1	④薬理学2
7	15:00~15:50	③歯内療法学1	③歯周病学1	⑤病理学2	⑧社会歯科学1	④薬理学2
8	16:00~16:50	③歯内療法学1	③歯周病学1	⑤病理学2	①研究の実践	④薬理学2
9	17:00~17:50					Weekly Summary

①歯科医師として求められる基本的な資質 ③歯と歯周組織の治療 ④全身管理 ⑤口腔と顎顔面疾患の治療 ⑥歯質と歯の欠損治療 ⑦診察の基本 ⑧社会と歯学

Weekly Summary: 学生と教員で、授業の理解度や学生生活について、気になることを共有する時間です。試験の日程や試験範囲、レポートの提出期限など、学修に関わる重要な内容を確認するなど、大学生活を安心して送るためのサポートの場となっています。

歯内療法学から学ぶ、歯を残すための「精密さ」と「向き合う姿勢」。

3年次の「歯内療法学」では、歯を残すために確実な処置や精密さが求められます。実習では、講義で習ったことをもとに実際に手を動かし模型で実践することで、更に学びを深めることができました。特に根管治療は時間がかかり、時には痛みが伴うこともあるため、患者さんとの信頼関係や治療に対する真摯な姿勢が大切だと学びました。

梶浦 大暉さん
私立日本大学明誠高等学校出身(山梨県)

Pickup 授業



部分床義歯補綴学1

後期

歯列の部分欠損に対する治療法である部分床義歯について、補綴治療としての意義と臨床的手法を学びます。実習ではサバイングから仮設計、個人トレー製作、精密印象採得までの製作工程と理論を修得します。



保存修復学2

後期

歯科医療に必要な保存修復領域の基本的な知識および技能を身につけるために、歯に生じる硬組織疾患の概要を理解し、疾患の治療の進め方の基本を知るとともに、シミュレーション実習(模型実習)を実施し、歯科医師に求められる態度を身につけます。



4年次 臨床の体系的な知識・診断, 技能修得

後期 総義歯補綴学実習

4年次 前期時間割

	月	火	水	木	金	
1	9:00~9:50	グループ学習	⑨小児歯科科学1		⑥口腔インプラント学	⑧法医学
2	10:00~10:50	Briefing / 前週講義試験	⑨小児歯科科学1	⑩有病者歯科学	⑨歯科矯正学1	⑧法医学
3	11:00~11:50	総括講義1	グループ学習	⑩有病者歯科学	⑨歯科矯正学1	⑧法医学
4	12:00~12:50	総括講義1				
5	13:00~13:50		総括講義1	⑦診査診断学	⑥部分床義歯補綴学2	⑤口腔外科学2
6	14:00~14:50	④歯科麻酔学2	総括講義1	⑦診査診断学	⑥部分床義歯補綴学2	⑤口腔外科学2
7	15:00~15:50	④歯科麻酔学2	総括講義1	⑦診査診断学	⑥部分床義歯補綴学2	⑤口腔外科学2
8	16:00~16:50	⑩摂食機能療法学	総括講義1	①歯科医学入門2	⑥部分床義歯補綴学2	⑤口腔外科学2
9	17:00~17:50			①歯科医学入門2		Weekly Summary

①歯科医師として求められる基本的な資質 ④全身管理 ⑤口腔と顎顔面疾患の治療 ⑥歯質と歯の欠損治療 ⑦診察の基本 ⑧社会と歯学 ⑨小児歯科・矯正歯科治療 ⑩スペシャルニーズデンティストリー



総義歯補綴学実習

後期

歯をすべて失った方が、しっかり噛めるようにする治療を学ぶ実習です。口の形を型取りするところから、模型や専用の器具を作り、人工の歯を並べて完成させるまで、総入れ歯製作の流れを体験し、理解を深めます。

臨床実習前の共用試験(CBT・OSCE)

CBTでは、知識の統合的な理解と問題解決能力を評価するため、基礎から臨床の各分野にわたる膨大な蓄積問題の中から、コンピュータがランダムに問題を抽出・出題し、受験者はモニター上に提示された問題を解答します。

OSCEでは、歯科医師に求められる能力(コミュニケーション、医療安全、感染対策、歯学的診察、検査・臨床技能)を評価するため、受験者は決められた時間内で模擬患者やマネキンを用いた実技課題に取り組みます。

4年後期

実習が多く、手先を使った経験を積める環境が整っていることが本学の魅力。

手先が器用なので、義歯を一から形にしていく「総義歯補綴実習」は、追求すれば見た目も機能も向上することが分かり、楽しい授業でした。本学は実習が他大に比べて多く、実習を通して、患者さんの口の中で何が起きているかをリアルに想像しながら取り組む姿勢が身についたと思っています。

木原 亜麻未さん
私立千葉大学第一高等学校出身





5年次 付属歯科病院での臨床実習

前期・後期 臨床実習

臨床実習後の共用試験

臨床実習後の共用試験(Post-CC PX)とは

診療参加型臨床実習では、地域社会や患者さんの協力を得ながら多くのことを学ばせてもらいます。したがって、診療参加型臨床実習を行なった学生が「歯学部を卒業させてよいと判断できる態度や技能を修得できているか」「卒業後の臨床研修をスムーズに開始できる臨床能力を修得しているか」を評価し、協力いただいた多くの患者さんに対して、歯科医師としての資質を備えていることを証明する必要があります。このような背景のもとで行われる共用試験がPost-CC PXです。Post-CC PXでは、臨床実地試験(CPX)と一斉技能試験(CSX)の2つの試験が行われます。CPXでは臨床現場での態度やパフォーマンスが評価されます。CSXでは歯科疾患を再現した模型を用いて、診療参加型臨床実習を通じて修得した治療技術が評価されます。

臨床実習では、
歯科医師としての責任感や
判断力の重要性を
強く実感しました。

本学部では、歯学を口腔だけに留めず、常に全身と関連付ける「医学的歯学」に基づいて学びます。5年次の臨床実習では、4年間で学んだ知識や技術を実際の臨床現場で実践しますが、患者さんの口腔の健康だけでなく全身の状況や生活背景も考慮し、信頼される治療環境を提供することの大切さを学びました。

吉岡 成恭さん
私立広島城北高等学校出身(広島県)

診療参加型臨床実習

診療参加型臨床実習は、付属歯科病院で行われ、臨床実習生(歯学)である第5学年学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を担います。歯科医師としてのプロフェッショナリズムや知識、技能及び態度などの基本的な事項を身につけるだけでなく、医療現場で必要とされる思考法、対応力及び実践的な技能を養い、歯科医師としての能力を修得します。また、診療参加型臨床実習を行った学生が、歯科医師に求められる基本的な態度ならびに治療技術を身につけているかを確認するため、Post-CC PX(Post-Clinical Clerkship Performance Examination)が実施されます。



6年次 6年間の体系的な知識の深化を図る

矯正歯科の奥深さを学んだ6年間。
専門性を高め、患者さんに還元していきます。

私が歯科医師を志したのは、高校1年生の時から通っている矯正歯科の先生への憧れがきっかけでした。先生は私と同じ「サラリーマン家庭」から進学し、努力を重ねて歯科医師になった女性です。患者の立場から見ても先生の治療時の姿は格好良く、「将来は先生のような矯正歯科医になりたい」と思い本学部に進学しました。歯学部での6年間はとても充実していたため、あっという間でした。4年次におけるワイヤーを用いた矯正実習は、細かい作業で難易度が高く苦労した一方で、歯並びが変わっていく仕組みを学ぶことは非常に有意義なものでした。特に臨床現場で矯正を行う時に、他大学では既製のワイヤーを使うことも多いようですが、本学部ではワイヤーを一つひとつ自分で曲げる技術をしっかりと学びます。私は「職業的な技術」を身につけたいと考えているため、本学部で細かな技術を学ぶことができ実りのある経験となったと共に、より矯正歯科医になりたいという気持ちが高まりました。また、入学当初は歯科医師という仕事について、漠然としたイメージしか持っていませんでした。しかし、臨床実習で実際に患者さんとコミュニケーションを取る中で、自分はこの仕事に向いていると実感できるようになり、本学部で6年間学べたことは私にとって大きな財産となりました。卒業後の研修期間を終えたら、本学部付属歯科病院の矯正科への入局を目指します。矯正科は非常に人気があり、入局試験も他科に比べて難しいと言われていますが、夢を叶えられるよう勉学に励んでまいります。また、将来は矯正歯科の先進国であるヨーロッパへの留学も視野に入れていきます。幼い頃にデンマークに住んでいた縁もあり、より高度な技術を学んで、日本の患者さんに還元したいと考えています。



木許 美育さん
私立十文字高等学校出身(東京都)

大学院歯学研究科

Graduate School of Dentistry

日本大学大学院歯学研究科及び専攻における

人材の養成に関する目的 その他の教育研究上の目的などについて

■歯学研究科

歯科学の教育・研究活動に必要な深い教養と高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識とともに、歯科医学の発展に寄与する教育・研究を指導する能力を養うことを目的とする。専攻分野の教育者及び研究者として自立した活動を行い、さらに歯科医学教育・先端的歯科診療等の指導に従事するために必要な深い教養と高度の研究能力の養成及びその基盤となる豊かな学識を養うことを目的とする。

■歯学専攻

多岐にわたる歯科医学の高度にしてより幅広い知識と先進的医療技術を有する教育者及び研究者の育成を図るべく、口腔構造機能学分野、応用口腔科学分野、口腔健康科学分野の3分野を設置している。これらは、歯科基礎系と歯科臨床系を融合した分野であり、学際領域の推進により複数の教員による指導体制のもとに、教育及び臨床に直結した歯学研究、専門医養成することを目的とする。

数多くの失敗の中から得られる 良い結果に、 研究の醍醐味を感じています。

卒業後の進路を考えたとき、大学病院で臨床に携わりながら専門的に学びたいと思い大学院へ進学しました。現在は本学部付属歯科病院口腔外科IIで診療を行いながら、生化学講座・津田啓方准教授のもとで研究に取り組んでいます。研究テーマは骨芽細胞の石灰化で、特定の試薬によって骨が形成されるメカニ



ズムを解明し、骨再生医療への応用を目指しています。研究は失敗の連続ですが、思い描いた結果が得られた瞬間の喜びは大きく、研究の醍醐味を実感しています。得られる知識はすべて吸収し、将来は研究成果を臨床に還元し、より多くの患者さんの力になりたいと考えています。

大学院生 吉川 可菜さん
日本大学歯学部出身

■ディプロマ・ポリシー (学位授与に関する方針)

歯学研究科博士課程に所定の修業年限以上在学し、修了に必要な所定の単位(30単位以上)を修得し、必要な研究指導を受け、博士論文の審査及び最終試験において、専攻分野に新たな知見を与え、歯科医学の発展に寄与し、教育・研究者としての豊かな学識と高度な技術が認められた者に博士(歯学)の学位を授与する。なお、学位審査では、その研究が一定以上の水準を示すインパクトファクターの付与された研究雑誌に筆頭著者として受理された論文を提出するよう推奨している。

自ら学ぶ

DP1...コンピテンシ:豊かな知識・教養に基づく高い倫理観
コンピテンシ:生命の尊厳を理解し、法と倫理に基づいた医療を実践するために必要な研究が実践できる。

DP2...コンピテンシ:世界の現状を理解し、説明する力
コンピテンシ:国際社会における科学の現状や背景を把握し、世界の医療・保健・福祉の役割を理解して、研究に取り組むことができる。

自ら考える

DP3...コンピテンシ:論理的・批判的思考力
コンピテンシ:新たな創造をめざし、得られた多岐にわたる知識や情報を基に、論理的で批判的な思考力で、最先端の独創的な研究を行うことができる。

DP4...コンピテンシ:問題発見・解決力
コンピテンシ:自らの研究課題や問題を見つけ、その解決のために必要な研究ができる。

自ら道をひらく

DP5...コンピテンシ:挑戦力
コンピテンシ:新たな研究課題に積極的に挑戦し、自らの道をひらくことができる。

DP6...コンピテンシ:コミュニケーション力

コンピテンシ:歯科医学研究を含む自然科学を探索するための必要なコミュニケーションが実践でき、自らの考えを世界に発信することができる。

DP7...コンピテンシ:リーダーシップ・協働力
コンピテンシ:歯科医学を探索するための責任ある研究を実践するリーダーシップと協働力を養うことができる。

DP8...コンピテンシ:省察力
コンピテンシ:歯科医学研究者・教育者として生涯にわたり、振り返りを行うことができ、自然科学領域の研究活動において自らを高めることができる。

■カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

自主創造の気風を自ら実践し、歯科医学の研究・教育活動に必要な高い教養と研究能力及びその基礎となる科学的思考力とともに、自立して研究を遂行・展開することができ、歯科医学の発展に寄与する豊かな学識と人間性を兼ね備えた教育・研究者の育成を目的とする。

自ら学ぶ

CP1...豊かな知識・教養に基づく高い倫理観
主科目、選択科目および総合特別講義の履修と研究活動を通じて、社会人としての品格と研究・教育者となるために必要な倫理観や自覚を育成する。

CP2...世界の現状を理解し、説明する力
主科目、選択科目および総合特別講義の履修および基礎・臨床・社会医学の研究成果を基に、国際社会での研究活動で活躍できる能力を養う。

自ら考える

CP3...論理的・批判的思考力
主科目、選択科目および総合特別講義の履修と研究活動を通じて、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を有する研究者・教育者を育成する。

CP4...問題発見・解決力
主科目、選択科目および総合特別講義の履修と研究

活動を通じて、歯科医学研究に必要な知識を幅広く体系的に学修し、リサーチマインドに必要な探求心と問題解決する力を養成する。

自ら道をひらく

CP5...挑戦力
研究によって明らかとなる新たな知見から、さらに課題を見つけ出し、それに挑戦し続けるリサーチマインドを持った研究者・教育者を養成する。

CP6...コミュニケーション力
国際的な研究活動を積極的に行う中で、適切なコミュニケーション力を養い、国際的・学術的研究を進めるための能力を育てる。

CP7...リーダーシップ・協働力
他分野の研究者と連携と協働し、良好な人間関係を構築しながら、広い視野を持つ国際的なリーダーシップが執れる研究者を育成する。

CP8...省察力
主科目、選択科目および総合特別講義の履修と研究活動を通じて、自己の向上の必要性を理解し、研究・教育者として生涯にわたる向上に努める姿勢を身につける。

■アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

歯科医学に関する豊かな知識と高いリサーチマインドを有し、優れた教育・研究者を志す人材を求める。

AP1...自主創造の精神に基づき、独創的な研究ができる人。
AP2...研究者または教育者となる強い目的意識と高い倫理観をもつ人。

AP3...自己課題とさらなる探究心に挑戦する力を持ち続けて努力する人。
AP4...生涯にわたる探求意欲を持続し、国際的な視点から社会貢献したい人。

■分野及び構成科目

分野	構成科目
口腔構造 機能学分野	解剖学
	発生・組織学／口腔解剖学
	口腔生理学／生理学
	歯科薬理学／薬理学
	口腔外科学
	歯科矯正学 歯科麻酔学
応用口腔 科学分野	口腔生化学／生化学
	口腔病理学／病理学
	歯科理工学
	保存修復学
	歯内療法学
	歯周病学
	総義歯補綴学
	局部床義歯学
	クラウン・ブリッジ学
	口腔健康 科学分野
口腔衛生学／衛生学	
歯科法医学／法医学	
歯科放射線学	
小児歯科学	
口腔内科学	
摂食機能療法学	

選抜概要

■一般選抜及び社会人選抜

種別	出願期間	試験期日	合格発表
1期	令和8年9月1日(火)～9月8日(火)	令和8年9月26日(土)	令和8年10月5日(月)
2期	令和9年2月5日(金)～2月12日(金)	令和9年2月27日(土)	令和9年3月9日(火)

募集人員:30名(1期・2期の合計)

入学検定料:50,000円

選考方法:【一般】英語・専門科目(志望分野の構成科目)・面接

【社会人】専門科目(志望分野の構成科目)・面接

出願資格:日本大学ホームページ内の「入試ガイド」を参照または歯学部教務課にお問い合わせください。

学費等 (令和8年度)

	1年次		2～4年次		
	入学時納入金		後学期納入金	前学期納入金	後学期納入金
	学内者	学外者			
入学金	—	200,000円	—	—	—
授業料	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円
施設設備資金	—	400,000円	—	—	—
校友会費(準会員)	10,000円	10,000円	—	10,000円	—
合計	410,000円	1,010,000円	400,000円	410,000円	400,000円

※校友会に係る費用は委託徴収です。なお、修了予定年次の後学期には、校友会費(正会員)10,000円を委託徴収します。

総合歯学研究所

Dental Research Center



広い視野で学際的な 歯学研究を推進

日本大学歯学部総合歯学研究所は、歯学に関する学理・研究、特に歯学の各分野にわたる総合的調査・研究を行い、もって学術の交流発展に寄与することを目的として設置されています。

歯科医学領域をカバーする10の研究部門と共同利用施設から構成され、学部内の各講座研究室および日本大学内外の研究機関と有機的に結合し、学際的な研究を推進して社会のニーズに応える先進的な歯科医学研究を行っています。

学内の研究費に加え、科学研究費等の公的研究費を多く獲得することで、高い研究成果を挙げ、また企業からの受託研究・共同研究の実施により、積極的に産学連携研究を展開し、研究成果の社会還元を努めています。

研究部門

- 生体工学研究部門
- 機能形態部門
- 生体防御部門
- 顎口腔機能研究部門
- 高度先端医療研究部門
- 系統生物学・腫瘍学部門
- 社会歯学研究部門
- 臨床研究部門
- 歯学教育研究部門
- 受託部門

INFORMATION

入学者選抜情報

(令和9年度)

一般選抜

N全学統一方式 第1期〈日本大学が実施する選抜〉

募集人員	9名
出願期間	令和9年1月 5日(火)～1月22日(金)
試験日	令和9年2月 1日(月)
合格発表日	令和9年2月12日(金)
選考方法	●数学:数学①〔数学I,数学II,数学A(図形の性質,場合の数と確率),数学B(数列),数学C(ベクトル)],数学②〔数学I,数学II,数学III,数学A(図形の性質,場合の数と確率),数学B(数列),数学C(ベクトル,平面上の曲線と複素数平面)]のうちから1科目選択(各60分/100点) ●理科:〔物理基礎,物理〕,〔化学基礎,化学〕,〔生物基礎,生物〕のうちから1科目選択(60分/100点) ●外国語:〔英語コミュニケーションI,英語コミュニケーションII,英語コミュニケーションIII,論理・表現I,論理・表現II,論理・表現III〕(60分/100点) ※数学において,指定科目数以上受験した場合は,高得点の科目を合否判定に使用する。 ※理科において,医学部を併願している場合は,第1解答科目のみを合否判定に使用する。 ※上記の結果を基に,試験の総合得点の上位者から選考する。ただし,総合得点が同点の場合,外国語の点数が高い者を優先とし,さらに同点であった場合は,理科の点数が高い者を優先とする。 ※上記の得点を標準化得点に換算し,合否判定する。

A個別方式(歯学部が実施する選抜)

募集人員	60名
出願期間	令和9年1月 5日(火)～1月22日(金)
試験日	令和9年2月 3日(水)
合格発表日	令和9年2月10日(水)
選考方法	●数学:〔数学I,数学II,数学A(図形の性質,場合の数と確率),数学B(数列),数学C(ベクトル)](60分/100点) ●理科:〔物理基礎,物理〕,〔化学基礎,化学〕,〔生物基礎,生物〕のうちから1科目選択(60分/100点) ●外国語:〔英語コミュニケーションI,英語コミュニケーションII,英語コミュニケーションIII,論理・表現I,論理・表現II,論理・表現III〕(60分/100点) ●小論文:(字数は当日指定)(60分/50点) ●面接:(30点) ※上記の結果を基に,試験の総合得点の上位者から選考する。ただし,小論文及び面接にはそれぞれ最低基準を設け,基準に達しない場合は,総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合,小論文と面接の総合得点が高い者を優先とし,さらに同点であった場合は,面接の点数が高い者を優先とする。

学校推薦型選抜

指定校制

募集人員	3名
出願期間	令和8年11月 2日(月)～11月 9日(月)
試験日	令和8年11月21日(土)
合格発表日	令和8年12月 1日(火)
選考方法	書類審査,小論文(60分/50点),面接(50点) ※上記の結果を基に,小論文,面接の総合得点の上位者から選考する。ただし,小論文及び面接にはそれぞれ最低基準を設け,基準に達しない場合は,総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合,面接の点数が高い者を優先とし,さらに同点であった場合は,全体の学習成績の状況が高い者を優先とする。
出願要件	①歯科医師となることを強く希望する者 ②本学部(学科)を第一志望とし,合格した場合は本学部(学科)に入学することを確約できる者 ③指定校別に定めた全体の学習成績の状況以上の者 ④学校長が責任をもって推薦する者

付属高等学校等(基礎学力選抜)

募集人員	20名
出願受付期日	令和8年11月 2日(月)
試験日	令和8年11月21日(土)
合格発表日	令和8年12月 1日(火)

※詳細については,付属高等学校等または歯学部教務課にお問い合わせください。

※本誌に掲載されている募集人員,募集開始時期,入学者選抜方法などにつきましては,予定であり,変更になる場合がありますので,必ず募集要項で御確認ください。

※身体の機能に著しい障がいのある方は,受験及び修学が困難になる場合がありますので,出願前のできるだけ早い時期に,教務課入試係(電話:03-3219-8002)にお問い合わせください。

N全学統一方式 第2期〈日本大学が実施する選抜〉

募集人員	3名
出願期間	令和9年1月 5日(火)～2月25日(木)
試験日	令和9年3月 4日(木)
合格発表日	令和9年3月12日(金)
選考方法	●数学:数学①〔数学I,数学II,数学A(図形の性質,場合の数と確率),数学B(数列),数学C(ベクトル)],数学②〔数学I,数学II,数学III,数学A(図形の性質,場合の数と確率),数学B(数列),数学C(ベクトル,平面上の曲線と複素数平面)]のうちから1科目選択(各60分/100点) ●理科:〔物理基礎,物理〕,〔化学基礎,化学〕,〔生物基礎,生物〕のうちから1科目選択(60分/100点) ●外国語:〔英語コミュニケーションI,英語コミュニケーションII,英語コミュニケーションIII,論理・表現I,論理・表現II,論理・表現III〕(60分/100点) ※数学において,指定科目数以上受験した場合は,高得点の科目を合否判定に使用する。 ※理科において,医学部を併願している場合は,第1解答科目のみを合否判定に使用する。 ※上記の結果を基に,試験の総合得点の上位者から選考する。ただし,総合得点が同点の場合,外国語の点数が高い者を優先とし,さらに同点であった場合は,理科の点数が高い者を優先とする。 ※上記の得点を標準化得点に換算し,合否判定する。

C共通テスト利用方式 第1期〈大学入学共通テストを利用した選抜〉

募集人員	7名
出願期間	令和9年1月 5日(火)～1月22日(金)
試験日	(大学入学共通テスト)令和9年1月16・17日(土・日)
合格発表日	令和9年2月18日(木)
選考方法	●国語:〔近代以降の文章のみ利用〕(100点) ●理科:〔物理〕,〔化学〕,〔生物〕のうちから1科目選択(100点) ●外国語:〔英語〕(100点) ※理科において2科目受験した場合は,第1解答科目のみを合否判定に使用する。[英語]についてはリスニングの成績は利用しない。 ※国語については大学入学共通テストの配点を上記の配点に換算し,合否判定する。 ※上記の結果を基に,試験の総合得点の上位者から選考する。ただし,総合得点が同点の場合,外国語の点数が高い者を優先とし,さらに同点であった場合は,理科の点数が高い者を優先とする。

C共通テスト利用方式 第2期〈大学入学共通テストを利用した選抜〉

募集人員	2名
出願期間	令和9年1月 5日(火)～2月18日(木)
試験日	(大学入学共通テスト)令和9年1月16・17日(土・日)
合格発表日	令和9年3月5日(金)
選考方法	●理科:〔物理〕,〔化学〕,〔生物〕のうちから1科目選択(100点) ●外国語:〔英語〕(100点) ※理科において2科目受験した場合は,第1解答科目のみを合否判定に使用する。[英語]についてはリスニングの成績は利用しない。 ※上記の結果を基に,試験の総合得点の上位者から選考する。ただし,総合得点が同点の場合,外国語の点数が高い者を優先とする。

公募制

募集人員	7名
出願期間	令和8年11月 2日(月)～11月 9日(月)
試験日	令和8年11月21日(土)
合格発表日	令和8年12月 1日(火)
選考方法	書類審査,適性試験(90分/100点),小論文(60分/50点),面接(50点) ※上記の結果を基に,適性試験,小論文,面接の総合得点の上位者から選考する。ただし,小論文及び面接にはそれぞれ最低基準を設け,基準に達しない場合は,総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合,小論文と面接の合計点が高い者を優先とし,さらに同点であった場合は,面接の点数が高い者を優先とする。
出願要件	①歯科医師となることを強く希望する者 ②本学部(学科)を第一志望とし,合格した場合は本学部(学科)に入学することを確約できる者 ③学校教育法における高等学校及び中等教育学校または文部科学省が認定する在外教育施設を2027年3月卒業見込みまたは2026年3月卒業の者(在外教育施設の場合は,2026年3月から,2027年3月までに卒業または卒業見込みの者) ④学校長が責任をもって推薦する者

その他の選抜等

校友枠選抜

募集人員	15名
出願期間	令和8年11月 2日(月)～11月 9日(月) ※令和8年10月26日(月)までに,日本大学校友会本部事務局において[出願資格確認書]の証明を受けてください。
試験日	令和8年11月21日(土)
合格発表日	令和8年12月 1日(火)
選考方法	書類審査,適性試験(90分/100点),小論文(60分/50点),面接(50点) ※上記の結果を基に,適性試験,小論文,面接の総合得点の上位者から選考する。ただし,小論文及び面接にはそれぞれ最低基準を設け,基準に達しない場合は,総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合,小論文と面接の合計点が高い者を優先とし,さらに同点であった場合は,面接の点数が高い者を優先とする。 ※合格基準に達しない場合には,合格予定者数が募集人員に満たないことがあります。
出願要件	出願要件などについては,日本大学校友会本部事務局(電話:03-5275-8143)または歯学部教務課にお問い合わせください。

編入学試験(2年次編入)

募集人員	2名
出願期間	令和8年10月 1日(木)～10月 8日(木)
試験日	令和8年10月17日(土)
合格発表日	令和8年10月23日(金)
選考方法	生物学,英語(出題水準は本学部第1学年修了程度)(各60分/100点) 小論文(60分/50点),面接(50点) ※上記の結果を基に,学力検査,小論文,面接の総合得点の上位者から選考する。ただし,小論文及び面接にはそれぞれ最低基準を設け,基準に達しない場合は,総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合,小論文と面接の合計点が高い者を優先とし,さらに同点であった場合は,面接の点数が高い者を優先とする。
出願資格	①学校教育法における大学を卒業した者(2027年3月卒業見込みの者を含む) ②学校教育法における大学(短期大学を除く)に1年以上在学し,教職課程などの科目を除いて35単位以上修得した者。ただし,単位修得見込者を除く。 ※本学の歯学部以外の学部(通信教育部を含む)に1年以上在籍中の者は転部試験を受験すること(2027年3月卒業見込みの者を除く)。 ③学校教育法における短期大学及び高等専門学校を卒業した者(2027年3月卒業見込みの者を含む)

入学者選抜に関するQ&A

Q 募集要項はいつ,どこで入手できますか。

A. 一般選抜募集要項は,日本大学ホームページ内[入試ガイド(10月公開予定)]からダウンロードしてください。冊子での配布は行いません。ただし,編入学試験,転部試験のみ募集要項を冊子で配布します。6月中旬以降,歯学部ホームページ[資料請求フォーム]にてお申し込みいただくか,教務課窓口でお受け取りください。

Q 教育充実料の減免制度とは何ですか。

A. 歯学部に入学者となる学生で,入学者選抜において特に優秀な成績をおさめ,人物が優れ,健康な者に対して教育充実料の範囲内で学費が減免されます。対象者には,合格発表に合わせて通知されます。ただし,本制度が適用されない選抜があります。

Q 小論文の評価と注意点を教えてください。

A. 限られた時間と字数の中で,いかにテーマに対する論旨をまとめているか,文章力,思考力などを中心に評価します。本学部では評価を点数化しています。字数は当日指定です。

外国人留学生選抜

募集人員	2名
出願期間	本部決定による～9月18日(金)
試験日	令和8年10月17日(土)[本校試験]
合格発表日	令和8年10月23日(金)
選考方法	●書類審査 ●外国語:〔英語〕(60分/100点) ※出題言語は「日本語」または「英語」,解答は出題の指示による。 ●理科:〔化学〕,〔生物〕のうちから1科目選択(60分/100点) ※指定の全科目を出題し,試験当日に試験場で選択。 ※出題言語は日本語。解答は日本語で記載。 ●小論文(日本語):(60分/50点) ●日本語による面接:(50点) ※上記の結果を基に,外国語[英語],理科,小論文,面接の総合得点の上位者から選考する。ただし,外国語及び理科並びに小論文及び面接にはそれぞれ最低基準を設け,基準に達しない場合は,総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合,小論文と面接の合計点が高い者を優先とし,さらに同点であった場合は,面接の点数が高い者を優先とする。 ※合格基準に達しない場合には,合格予定者数が募集人員に満たないことがあります。
出願資格	出願資格等については,日本大学入試ガイドのサイト(https://www.nihon-u.ac.jp/admission_info/application/international/)を御覧いただくか,歯学部教務課にお問い合わせください。

転部試験(2年次転入)

募集人員	若干名
出願期間	令和8年10月 1日(木)～10月 8日(木)
試験日	令和8年10月17日(土)
合格発表日	令和8年10月23日(金)
選考方法	生物学,英語(出題水準は本学部第1学年修了程度)(各60分/100点) 小論文(60分/50点),面接(50点) ※上記の結果を基に,学力検査,小論文,面接の総合得点の上位者から選考する。ただし,小論文及び面接にはそれぞれ最低基準を設け,基準に達しない場合は,総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合,小論文と面接の合計点が高い者を優先とし,さらに同点であった場合は,面接の点数が高い者を優先とする。
出願資格	本学の歯学部以外の学部(通信教育部を含む)に1年以上在学し現在も在学中で,教職課程などの科目を除いて35単位以上修得した者(2027年3月単位修得見込みの者を含む)。 ※本学の歯学部以外の学部(通信教育部を含む)に在籍中の者が2027年3月卒業見込みの場合は,転部試験は出願できない。この場合は編入学試験を受験すること。 ※転部試験合格後,歯学部転入までに退学した場合は合格を取り消す。 ※単位修得見込者が合格後,35単位以上修得できなかった場合は,合格を取り消す。

入学者選抜に関するQ&A

Q 一般選抜A個別方式,N全学統一方式において,理科の科目の選択による有利・不利はありますか。

A. いずれも試験場で問題を見た上で選択できます。A個別方式では科目によって問題の難易度差が生じないよう努めており,科目による有利・不利はありませんが,科目間において平均点に20点以上の差が生じた場合は得点調整を行います。N全学統一方式では,全教科の得点を標準化得点に換算し,合否判定を行います。

Q 面接試験はどのようなものですか。

A. 各選抜とも,受験生1名に対して,2名の面接担当者が携わります。時間は10分程度です。主な質問内容は,志望動機,高等学校での活動状況,趣味・特技等の一般的な質問から,将来の歯科医師像などです。

Q 試験問題の解答方式を教えてください。

A. 全問記述式です。ただし,一般選抜N全学統一方式第1期及び第2期は,全問マークシート方式です。

INFORMATION

学費等

■納入方法（令和8年度）

学費は前学期・後学期の年2回に分けて納入することになっています。会計課から、その都度納入者に納入額・納入期限が示された振込依頼書が送付されます。

※後援会、校友会に係る費用は委託徴収です。なお、卒業予定年次の後学期には、校友会費(正会員)10,000円を委託徴収します。

※本学では、教育・研究・診療活動の基盤整備などのため、入学後、任意ではありますが募金事業に御協力をお願いする予定です。

	1年次		2年次・3年次		4年次～6年次	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
入学金	600,000円	—	—	—	—	—
授業料	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円
施設設備資金	600,000円	600,000円	600,000円	600,000円	600,000円	600,000円
教育充実料	800,000円	800,000円	300,000円	300,000円		
小計	3,750,000円	3,150,000円	2,650,000円	2,650,000円	2,350,000円	2,350,000円
後援会入会金	100,000円	—	—	—	—	—
後援会費	30,000円	—	30,000円	—	30,000円	—
校友会費(準会員)	10,000円	—	10,000円	—	10,000円	—
納入額	3,890,000円	3,150,000円	2,690,000円	2,650,000円	2,390,000円	2,350,000円
年額	7,040,000円		5,340,000円		4,740,000円	

■教科書・実習器材費等概算（令和7年度実績）

卒業するまでには、学費以外にも教科書や実習器材の費用が必要です。なお、これらの費用は、その年により変動する場合があります。

	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計
教科書	約 100,000円	約 109,000円	約 223,000円	約 302,000円	17,000円	約 46,000円	約 797,000円
実習器材	約 65,000円	約 231,000円	約 607,000円	約 532,000円	27,000円	0円	約 1,462,000円
合計	約 165,000円	約 340,000円	約 830,000円	約 834,000円	44,000円	約 46,000円	約 2,259,000円

※4年次の教科書代には、共用試験受験料(38,000円)を含みます。

奨学金

(人数は令和7年度実績)

学生が経済面でも安心して学習に取り組めるように、日本大学及び歯学部独自の学内奨学金や、学外の奨学金財団による

以下の奨学金制度が設けられています。

■日本大学特待生

種別	年額	人数	対象
甲種(給付)	授業料1年分相当額の半額及び図書費120,000円	1名	2～6年
乙種(給付)	授業料1年分相当額の半額	4名	

■日本大学創立130周年記念奨学金(給付)

種別	年額	人数	対象
第1種(入学生)	300,000円	0名	1年
第2種(在学生)		7名	2～6年

(日本大学創立130周年記念に創設した奨学金です)※経済的支援を必要とする者。

■日本大学歯学部佐藤奨学金(給付)

種別	年額	人数	対象
第1種	200,000円／100,000円	5名／25名	2～6年
第2種	100,000円	5名	
第3種	500,000円(上限)	9名	大学院 2～4年

■日本大学古田奨学金

種別	年額	人数	対象
給付	200,000円	1名	大学院 2～4年

■日本大学ロバート・F・ケネディ奨学金

種別	年額	人数	対象
給付	200,000円	1名	大学院 2～4年

■日本大学歯学部同窓会奨学金

種別	年額	人数	対象
給付	100,000円	5名	2～6年
	50,000円	4名	大学院 2～4年

■地方公共団体・民間育英奨学金公益財団法人 森田育英会奨学金

種別	年額	人数	対象
給付	360,000円	2名	6年

■日本学生支援機構奨学金(貸与)

種別	月額	人数	対象
第一種(無利子)	自宅通学者20,000円、30,000円、40,000円または54,000円 自宅外通学者20,000円、30,000円、40,000円、50,000円または64,000円	25名	1～6年
第二種(有利子)	20,000円から120,000円までの1万円単位の金額の中から選択*	53名	
第一種(無利子)	80,000円または122,000円	31名	大学院 1～4年
第二種(有利子)	50,000円／80,000円／100,000円／130,000円／150,000円の中から選択	0名	

※第二種奨学金の120,000円を選択した場合に限り、希望により40,000円の増額を申込時に選択できます。 ※停止中の者を除く。

表彰制度

表彰制度には、日本大学による表彰と本学部による表彰があります。いずれも6年間の学生生活を通じて、学業成績優秀にして品行方正な学生及び学術・文化、体育、善行、その他の部門において著しく貢献した学生に対し、卒業時に選考の上、表彰する制度です。

転部制度

日本大学では、学生が退学することなく異なる学部等(通信教育部を含む)に異動できる制度として転部試験があります。歯学部からの転部実績／令和7年度 通信教育部:2名／令和6年度 通信教育部:1名／令和5年度 経済学部:1名、医学部:3名、通信教育部:1名／令和4年度 通信教育部:2名／令和3年度 経済学部:2名／令和2年度 経済学部:1名、芸術学部:1名

学生寮

日本大学学生寮

バンデリアン松戸

男子寮

江戸川近くにある歴史ある街『松戸』

本学の首都圏キャンパスから郊外にあるキャンパスまでアクセスが優れた立地です。東京スカイツリーも間近に望むことができ、夏には松戸花火大会が開催されます。

住所：千葉県松戸市松戸2221-1
JR常磐線、新京成線「松戸」駅 徒歩7分

定員：男子70名

寮費：月額55,000円

レガメリアン赤堤

女子寮

学生街にある『赤堤』

文理学部キャンパスへは目と鼻の先、地域全体に学生が多い街です。下高井戸駅までの道のりは商店が多く立ち並び、生活利便性も良い地域です。

住所：東京都世田谷区赤堤5-23-1
京王線、東急世田谷線「下高井戸」駅 徒歩8分

定員：女子48名

寮費：月額65,000円

バンデリアン町田

男子寮

自然豊かな『町田』

潤沢な自然がある都会のオアシス。オンとオフを切り替えるには絶好の立地にあります。静かな空間で勉学に励んだら、電車で1駅の町田駅周辺でショッピングや食事なども楽しめます。

住所：東京都町田市南大谷916-2
小田急線「玉川学園前」駅 徒歩15分

定員：男子100名

寮費：月額55,000円

レガメリアン宮坂

女子寮

閑静な住宅地『宮坂』

静かな住宅地で緑に囲まれ、宮の坂駅からの道のは世田谷線ののどかな雰囲気をおびています。また、経堂駅近くは再開発で洗練され充実した商店街となっています。

住所：東京都世田谷区宮坂1-30-20
東急世田谷線「宮の坂」駅 徒歩5分
小田急線「経堂」駅 徒歩8分

定員：女子31名

寮費：月額65,000円

バンデリアン稲城

男子寮

緑あふれる『稲城』

今話題のシェアハウス型学生寮。ロフトタイプのベッド導入により、同等設備の学生寮に比べ、低価格の寮費(光熱水費含む)を実現しました。京王線、小田急線の2線路が利用可能です。(各路線約10分間隔で運行)

住所：東京都稲城市平尾4-72-3
京王相模原線「若葉台」駅 徒歩15分
小田急多摩線「栗平」駅 徒歩12分

定員：男子300名

寮費：月額35,000円

レガメリアン東が丘

女子寮

憧れの街『目黒・東が丘』

都心に程近い好立地。緑も多く治安の良い住みやすい街です。ハイセンスなお店などが充実しているところも魅力のひとつです。

住所：東京都目黒区東が丘1-15-12
東急田園都市線「駒沢大学」駅 徒歩12分

定員：女子150名

寮費：月額65,000円

教育方針

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

日本大学教育憲章では「日本大学マインド」として「日本の特質を理解し伝える力」「多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力」「社会に貢献する姿勢」の3つを掲げています。日本大学歯学部は、「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道をひらく」からなる日本大学の教育理念「自主創造」を基盤として日本大学マインドを有する医療人を育成します。すなわち、全学の学位授与の方針及び歯学部教育目的に鑑み、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した学生の卒業を認定し、学位(学士)を授与します。

- DP1 歯科医師としての責務を理解し、患者中心の歯科医療に必要な倫理観をもって医療を実践することができる能力
- DP2 世界の歯科医療の現状を理解し、異なる価値観をもつ人と積極的にかかわり共生・協働できる能力
- DP3 生涯にわたってリサーチマインドを持ち続けるための基礎となる、論理的・批判的に思考することができる能力
- DP4 医歯一元論に基づく歯科医学、ならびに自然科学、人文科学の知識を有し、必要に応じて、臨床・教育・研究に応用することができる能力
- DP5 自主創造の基本理念に則り、最新の科学的根拠に基づく安全で効果的な患者中心の歯科医療を実践することができる能力
- DP6 患者・患者家族・医療従事者の立場を理解、尊重し、適切なコミュニケーションをもって医療を実施することができる能力
- DP7 歯科保健・医療・福祉・介護の現状を理解し、多職種と連携しながら地域医療に貢献することができる能力
- DP8 生涯にわたって自己研鑽に取り組むための基礎となる、自己を謙虚に見つめ、振り返ることができる能力

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

日本大学歯学部は、ディプロマ・ポリシーに示した能力を備えた歯科医師を育成するために、以下の教育課程(カリキュラム)を編成し、実施します。

1 カリキュラム編成

歯学部のカリキュラムでは、ディプロマ・ポリシーの達成に必要な教養科目、専門科目及びその他の科目を系統的、統合的、段階的に配置しています。すなわち、10のコース「歯科医学を学ぶための基礎」「歯科医師として求められる基本的な資質」「社会と歯学」「診察の基本」「全身管理」「口腔と顎顔面疾患の治療」「歯と歯周組織の治療」「歯質と歯の欠損治療」「小児歯科・矯正歯科治療」「スペシャルニーズデンティストリー」に含まれる科目群を3つのフェーズに分けて配置し(フェーズ1:第1・2学年、フェーズ2:第3・4学年、フェーズ3:第5・6学年)、それぞれにマイルストーンを設けて、学生が主体的に学修できる螺旋型カリキュラムを編成しています。

2 学修内容及び学修方法

フェーズ1(第1・2学年)は教養科目及び基礎歯学の科目が配置されており、各科目の目的・目標に応じた方法で教育を実施します。第1学年前期では、歯学部での学修に必要な基礎的知識を講義と実習により確認しながら主体的な学修の定着を図るとともに、「歯科医学入門1」や「自主創造の基礎」など、問題基盤型学修(Problem-Based Learning: PBL)を基盤とした科目において、論理的な思考能力及び問題解決能力を育成します。また、第1学年後期に行われる歯科臨床早期見学実習では、医療人としての自覚と態度を涵養するとともに、歯学部で学修する内容と医療現場との関連性についての理解を深めます。第1学年後期から第2学年では、基礎歯学の科目を中心に講義と実習を行うことにより、臨床歯学を学ぶための基盤を形成します。フェーズ2(第3・4学年)は、主に臨床歯学の科目が配置されており、講義と臨床基礎実習を行うことにより基礎歯学を含めて知識と技能を統合させます。また、より専門性を高めた形でPBLやシミュレーション実習を実施することにより、臨床における問題解決能力の基礎を育成します。フェーズ3(第5・6学年)では、診療参加型臨床実習において、Student Dentistとして患者に対する診療を担当することにより歯科臨床能力を育成します。また、基礎系科目と臨床系科目を統合した総括講義を実施します。さらに、6年間の教育プログラムを通して医療人の基礎となるコミュニケーション能力、倫理観、プロフェッショナリズムに関する教育を実施します。

コンピテンス1: 歯科医師としてのプロフェッショナリズム

学習アウトカム

歯科医師としての責務を理解し、患者中心の歯科医療に必要な倫理観を有する。

コンピテンシー

- 1-1 社会規範を理解し行動できる。
- 1-2 歯科医師としての責務を理解し行動できる。
- 1-3 歯科医師法及び関連法規・規範を遵守する。
- 1-4 患者の立場や価値観を尊重し、公正な医療を提供する。

コンピテンス2: グローバルマインド

学習アウトカム

世界の歯科医療の現状を理解し、異なる価値観をもつ人と積極的にかかわり共生・協働できる。

コンピテンシー

- 2-1 世界の医療情報を収集し理解・説明できる。
- 2-2 国際社会で活躍できる言語能力を身につける。

コンピテンス3: リサーチマインド

学習アウトカム

歯科医学・医療に必要な情報を論理的・批判的に思考し、生涯を通じてリサーチマインドを持ち続けることができる。

コンピテンシー

- 3-1 歯科医学・医療に関わる研究の重要性を理解できる。
- 3-2 歯科医学・医療に関わる科学的情報を適切に収集できる。
- 3-3 IT等も利用し情報を論理的・客観的・批判的に思考・分析できる。
- 3-4 知識と技能をアップデートすることができる。

コンピテンス4: 歯科医学及び関連領域の知識

学習アウトカム

医歯一元論に基づく歯科医学、ならびに自然科学、人文科学の知識を身につけ、臨床、教育、研究に幅広く応用できる。

コンピテンシー

- 4-1 歯科医学を学ぶ上で必要な自然科学・人文科学の素養を身につける。
- 4-2 人体の発生、発達、成長、老化と死を説明できる。

- 4-3 人体の正常な構造と機能を説明できる。
- 4-4 疾病の発症メカニズムと病態を説明できる。
- 4-5 口腔・顎顔面領域の疾患の診断と治療を説明できる。
- 4-6 歯科医療に必要な材料、機器、ならびに薬物の特性と適切な取り扱い方法を説明できる。
- 4-7 疾病予防と健康増進について説明できる。
- 4-8 医療安全を説明できる。
- 4-9 社会保障制度について説明できる。
- 4-10 最新テクノロジーの医療への応用を説明できる。

コンピテンス5: 医療の実践

学習アウトカム

自主創造の基本理念に則り、最新の科学的根拠に基づく安全で効果的な患者中心の歯科医療を実践できる。

コンピテンシー

- 5-1 患者やその家族に対して思いやりと敬意を示し、医療面接を適切に実施できる。
- 5-2 必要な診察と検査を選択し実施できる。
- 5-3 医療面接、診察及び検査結果に基づいて診断し、包括的な治療計画を立案できる。
- 5-4 患者やその家族に診断結果と治療計画を説明し、治療の同意を得ることができる。
- 5-5 高頻度治療の基本的臨床手技を実施できる。
- 5-6 適切な歯科保健指導を行い、患者の健康増進に貢献できる。
- 5-7 小児、高齢者、障害者、基礎疾患を有する者の身体、心理、社会的特性を理解し適切に対応できる。
- 5-8 診療録など歯科医療に必要な文書を適切に作成、管理ができる。
- 5-9 医療安全管理の基本概念と標準予防策を理解し、患者及び医療従事者にとって良質かつ安全な医療を提供できる。
- 5-10 チーム医療、地域医療及び国際医療を理解し、携わることができる。

コンピテンス6: コミュニケーション

学習アウトカム

他者を理解し、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、歯科医療の場でも適切にコミュニケーションをとることができる。

コンピテンシー

- 6-1 患者と患者家族の立場を理解・尊重し、信頼関係を構築できる。
- 6-2 患者と患者家族に自分の考えを適切に伝えることができる。
- 6-3 医療従事者の立場を理解・尊重し、信頼関係を構築できる。
- 6-4 医療従事者に自分の考えを適切に伝えることができる。

コンピテンス7: 地域社会への貢献

学習アウトカム

コミュニティの歯科保健・医療・福祉・介護の現状を理解し、多職種と連携しながら地域医療に貢献する準備ができる。

コンピテンシー

- 7-1 歯科保健・医療・福祉・介護の現状と課題を説明できる。
- 7-2 歯科保健・医療・福祉・介護に関わる多職種の役割と制度を説明できる。
- 7-3 多職種連携における歯科医師の果たす役割を理解し、チーム医療と地域医療に携わることができる。
- 7-4 災害医療について説明できる。

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

本学部では歯科医学を学ぶための基礎学力を有し、健康で多様性に富んだ資質を兼ね備えた人を求めています。学生同士が「切磋琢磨」して自己を認め合い、高め合うことで、歯科医療に求められるプロフェッショナルをともに目指す意欲の高い人材の育成を行います。

- AP1 医学的歯学の理念に基づく知識・技能・態度を修得するための基礎学力と論理的思考力を有する人
- AP2 医療人となる目的意識と高い倫理観を有する人
- AP3 自主創造の気風に賛同し自己研鑽できる人
- AP4 自己の目標を実現する挑戦力を持ち努力できる人
- AP5 生涯にわたり学修意欲を持続し社会に貢献できる人

日本大学教育憲章 [P.4](#)

日本大学歯学部の歴史

日本大学歯学部は、1916年(大正5年)、佐藤運雄^{かずお}先生によって東洋歯科医学校として設立されたことに始まり、2016年(平成28年)に創設100周年を迎えた伝統ある学部です。その建学の趣旨は、医学的基礎に立脚した歯科技術の向上と人格の教化であるとされています。設立当時、黎明期にあった日本の歯科界において、佐藤先生は歯学を口腔に止めず、常に全身と関連づけて学ぼうとする医歯一元論を提唱し、歯科界に一大潮流を形成しました。

この理念は、本学部の校是として脈々と継承されており、幅広い知識と視野を持った数多くの俊英が巣立ち、わが国の歯学系大学のなかでも揺るぎない地位を占めるに至っています。

沿革

- 大正 5年 東洋歯科医学校創立
- 9年 財団法人東洋歯科医学専門学校設立認可
- 10年 同校を日本大学に移管
- 11年 日本大学専門部歯科設置
- 12年 関東大震災により校舎全焼
- 13年 専門部歯科指定第1回卒業式
- 15年 日本大学歯科医学校(夜間)設置認可



入学者選抜日程

日本大学歯学部

- 編入学試験
 - 外国人留学生選抜
 - 転部試験
 - 学校推薦型選抜 指定校制
 - 学校推薦型選抜 公募制
 - 学校推薦型選抜 付属高等学校等 (基礎学力選抜)
 - 校友枠選抜
- 令和8年10月17日(土)
- 令和8年11月21日(土)
- 一般選抜N全学統一方式第1期 令和9年 2月 1日(月)
 - 一般選抜A個別方式 令和9年 2月 3日(水)
 - 一般選抜N全学統一方式第2期 令和9年 3月 4日(木)
 - 一般選抜C共通テスト利用方式第1期・第2期 令和9年 1月16日(土)・17日(日) (大学入学共通テスト)

進学相談会日程

日本大学歯学部

- | | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|--|
| 第1回
6/14(日)
令和8年 | 第2回
7/26(日)
令和8年 | 第3回
8/23(日)
令和8年 | 第4回
10/31(土)
桜齒祭と共催
相談ブースのみ
令和8年 |
|------------------------|------------------------|------------------------|--|

実施内容、申込方法等は歯学部ホームページでお知らせします。

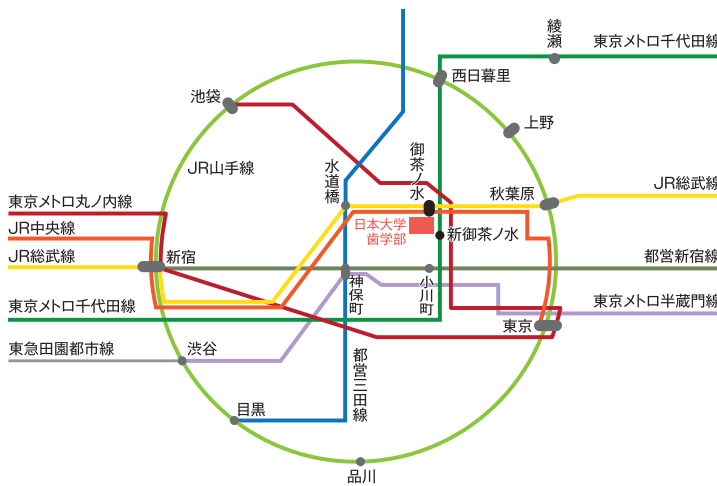
Webオープンキャンパス
歯学部ホームページで、歯学部紹介や模擬授業の動画、バーチャル校内見学を公開しています。



お問い合わせ先 **日本大学歯学部教務課 (入試係)** TEL 03-3219-8002

アクセス

- JR中央線・総武線 御茶ノ水駅 徒歩2分
- 東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 B1番出口 徒歩2分
- 東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅 1・2番出口 徒歩5分
- 都営地下鉄 新宿線 小川町駅 B5番出口 徒歩7分
- 東京メトロ半蔵門線・都営三田線 神保町駅A5番出口 徒歩10分



日本大学歯学部

〒101-8310 東京都千代田区神田駿河台1-8-13
TEL 03-3219-8001 FAX 03-3219-8310
<https://www.dent.nihon-u.ac.jp/>



日本大学は、以下の情報管理宣言を定めて情報管理の徹底に努めています。関係の皆様におかれましては、本大学の取組について御理解賜りますとともに本大学の情報管理の徹底に御協力くださいますようお願い申し上げます。

■日本大学情報管理宣言

日本大学は、教育理念を実現し、社会的責任を全うし、本学の誇りを守るため、次の三つを宣言します。

- 1 日本大学は、業務・教学情報の外部持ち出しを許しません
- 1 日本大学は、情報を大学の重要な財産と考え、厳格に管理します
- 1 日本大学は、構成員に対し情報管理教育を徹底します

日本大学の構成員は、自らが関わる情報が、大学の誇りと構成員・校友の尊厳に関わるものであることを常に自覚し、良識を持って情報に接することを誓います。